

平成21年度

決算の概況

市民の皆さんが納めた税金や国・県からの補助金は、市民生活のためにさまざまな形で使われています。決算は、それらのお金が、皆さんの暮らしやまちづくりにとどのように生かされたかをまとめたものです。

一般会計

平成21年度の一般会計決算額は、歳入が159億9,487万円、歳出が153億3,773万円、当年度における「歳入歳出差引額」は6億5,714万円となりました。

この差引額から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた「実質収支」は5億2,291万円となりました。

【歳入】

全体では前年度に比べて3億2,333万円(2.0%)減となりました。景気の低迷などによる市税の減、県支出金の減、繰入金の減、市債などが減となる一方、地方交付税・国庫支出金が増となりました。特に国庫支出金は、各種緊急経済対策に伴う交付金などの増により増えます。

【歳出】

全体では、前年度に比べ3億8,838万円(2.5%)の減となりました。厳しい財政状況の中、限られた財源の重点的配分を行うとともに、経費の一層の削減など財政の健全化に努めながら、子供たち、お年寄りが安心して生きる喜びを分かち合えるまちの実現に向け、保健・医療・福祉、教育・文化、産業、生活環境、社会基盤の各分野について種々の施策を推進してきました。特に小中学校施設整備事業については、平成24年度を統合年度としている麻生中学校をはじめ、実施計画に基づき、施設整備を進めております。

特別会計・企業会計

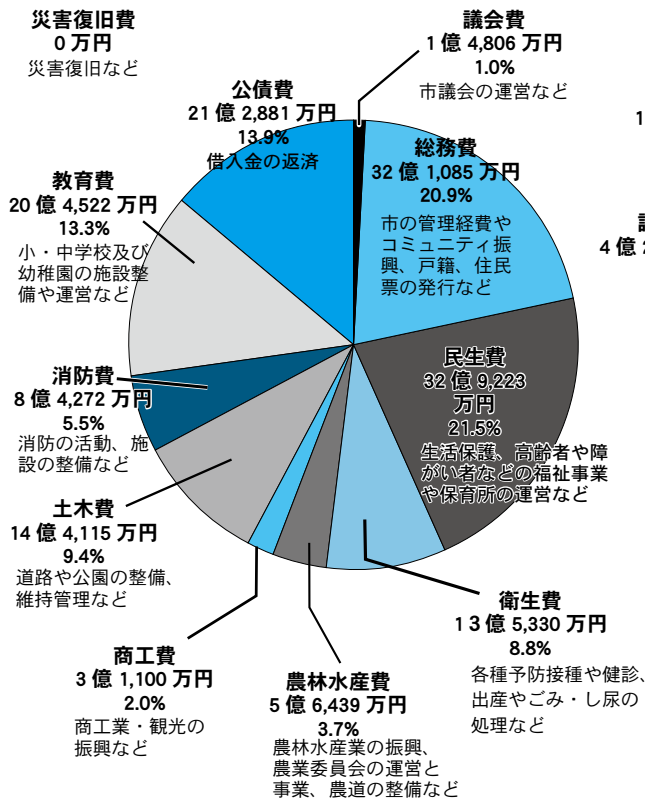
一般会計のほかに、特定の事業を行うための7つの「特別会計」と、地方公営企業法を適用している「水道事業会計」があります。

「特別会計」と「水道事業会計」の収益的収支を併せた決算額は、歳入総額104億4,780万円、歳出総額101億1,153万円、差引3億3,627万円となりました。

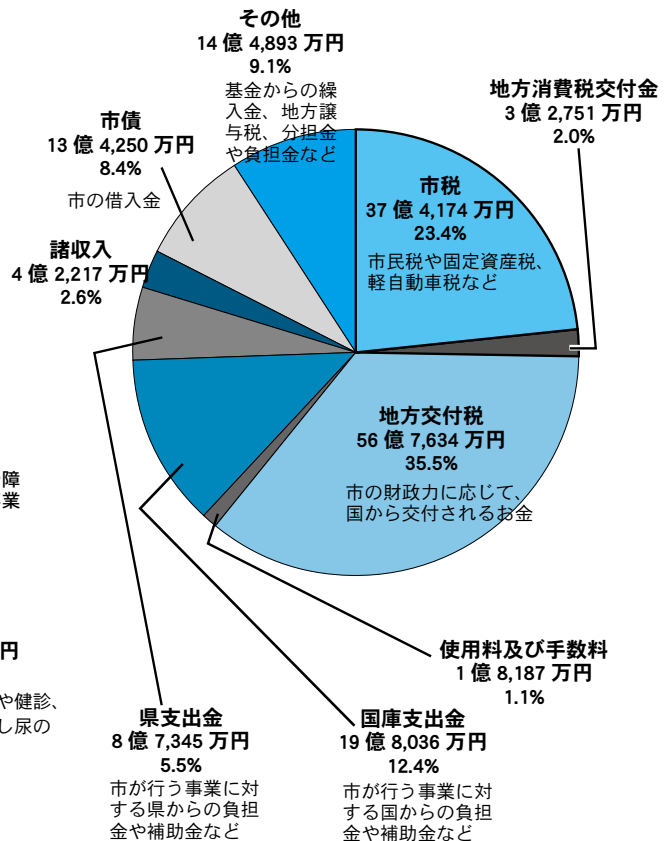
【問合せ】 財政課(麻生庁舎)

☎0299(72)0811

一般会計歳出 153億 3,773万円



一般会計歳入 159億 9,487万円



※数値は、表示単位未満を四捨五入しています。

特別会計・企業会計決算額

会計区分	歳入決算額 主な項目	歳出決算額 主な項目	歳入歳出差引残金
国民健康保険	51億9,856万円 国民健康保険税、国庫支出金、 共同事業交付金、前期高齢者 交付金など	50億5,618万円 保険給付金、前期高齢者納付 金、共同事業拠出金、介護納 付金など	1億4,238万円
老人保健	2,963万円 支払基金交付金、国庫支出金、 県支出金、繰入金など	345万円 医療諸費、前年度繰上充用金 など	2,618万円
介護保険 (保険事業勘定)	27億76万円 保険料、支払基金交付金、国 庫支出金、県支出金など	26億2,755万円 保険給付費、総務費、地域支 援事業費、基金積立金など	7,321万円
介護保険 (サービス事業勘定)	686万円 介護予防サービス費収入	575万円 新予防給付事業費など	111万円
後期高齢者医療	2億6,647万円 保険料、繰入金など	2億6,510万円 広域連合会納付金	137万円
農業集落排水事業	6億9,570万円 市債、国庫支出金、県支出金、 使用料及び手数料など	6億7,881万円 事業費、公債費、総務費	1,689万円
特定環境保全公共 下水道事業	3億4,159万円 繰入金、使用料及び手数料、 市債、国庫支出金など	3億959万円 公債費、事業費、総務費など	3,200万円
流域関連公共 下水道事業	3億9,129万円 繰入金、市債、使用料及び手 数料、国庫支出金など	3億8,666万円 公債費、下水道費、維持費、 総務費	463万円

※数値は、表示単位未満を四捨五入しています。

水道事業会計

企業会計である水道事業は、給水などの営業面からみた収支を「収益的収支」、設備など所有財産の面からみた収支を「資本的収支」としていません。

区分	歳入	歳出	差引額
収益的収支	8億1,694万円	7億7,844万円	3,850万円
資本的収支	6億101万円	8億4,791万円	△2億4,690万円

「資本的収支」の△2億4,690万円は、過去の施設整備の際に借り入れた起債の元金です。

※数値は、表示単位未満を四捨五入しています。